

事例  
研究高齡者の活躍が  
企業の未来を切り拓く

少子高齢化に伴う労働力人口の減少は、企業の人材不足を招く大きな問題となっています。本紙では、高齢者の積極的な採用により、問題解決に向けて取り組まれている企業をご紹介します。本事例を足掛かりとして、高齢者を活用した人材確保にお役立てください。

“人に喜びを与える仕事をして  
地域から必要とされる施設になります。”

株式会社 Office TR-One

## シニアの方の力が絶対的に必要！

「私たちの職場はシニアの方が必要なんです！」と語るのは、企業主導型保育園や企業内保育、出張託児などの施設を展開する株式会社Office TR-One代表取締役の美山富子さんだ。

今回は、同社が運営する施設のうち、JR新札幌駅から徒歩2分のビル内にある“あいりんく保育園 新さっぽろ園”で話を伺った。この施設は“愛情いっぱい満たされることで、思いやりが持てる温かい心を育てること”を第一義の理念として、生後4か月から6歳までの乳児と幼児42名(定員50名)を保護者のニーズに合わせて預かっている。

ここで働く従業員は27名、そのうちシニアの従業員は2名。基本的にシニアの方はパートとしての勤務だが、1年365日、1日13時間の開園をしているこの施設には、責任感が強く、愛情深く対応してくれるシニアの力が絶対的に必要なのだそう。

子ども、保護者、若い同僚の  
応援団になりたい！

保育や介護の仕事を長く経験され、現在ここで保育士として従事されている高橋恭子さん(67歳)にインタビューさせていただいた。入社したのは昨年の7月、以前の職場を定年退職した後、今後の人生を考えたとき、自分らしく、やりたいことをやることで、人の役に立ちたいという思いがあり、それを叶えてくれたのがこの職場。週に4日、1日5時間の勤務をしている。仕事内容を伺うと、「体温などの健康チェックやおむつ替え、室内遊びに加えて、公園へ行くなど外遊びもしています。勿論、安全面などに神経を使いますが、逆に子どもたちからパワーをもらって、とにかく楽しい！私は子どもや保護者、一緒に働く若い同僚の応援団になりたいのです。やりたいことをやることで、大変なことさえ楽しめるようになるんですよ。」と言う。

美山社長はこう言う。「恭子先生の姿は保護者にとって、どれだけ心強いのか。子どもを安心して預けていると確信を持てるのです。恭子先生は園にとっても、私にとっても、



写真左【あいりんく保育園 新さっぽろ園】入る前から元気なお子さんの声が聞こえそう  
写真中【愛情たっぷり お仕事中の恭子先生】お手拭きしましょうね  
写真右【代表取締役の美山さんと保育士の高橋さん】  
「ここではお熱が出てしまったお子様もお預かりしています」

## 会社概要

【会社名】 株式会社Office TR-One  
【所在地】 札幌市中央区南15条西13丁目1-1-502(本社)  
【創立】 2014年1月

【従業員】 65名  
【事業内容】 委託業務保育、事業内保育園運営、企業主導型保育など

どうしたって必要です。経営者として私が持つ理想と同じ気持ちで働いてくれています。」と熱く話してくれた。

恭子先生に、これから働きたいと考えているシニアの方へのメッセージをいただいた。「これまで生きてきた中で、出来ること、好きなこと、やりたいことを新たにやってみようという勇気を持って踏み出せば、きっと“新しい景色”が見えるはず。その景色を見ることで、大変なことがあっても楽しめるようになるし、やりがいにもなると思っています。」

同社のホームページに掲げている「感動と笑顔の回数はイコール、子ども達と保護者様、保育園のトライアングルでなんでも話せて寄り添える場所。愛で溢れるあいらんく保育園。」という理念。本取材を通して、美山社長、恭子先生の人柄や今日のお話から、65名の従業員すべてが同じベクトルで、同じ想いで事業を運営しているでしょう。やはり、これから社会を支えていくのは、若い世代中心ではあるのですが、シニアの持つ経験やスキル、そして気持ちと想いは必要なのだと再認識する取材であった。



株式会社 Office TR-One  
代表取締役  
美山 富子 さん

「子どもが大事にされている、愛されていると感じられる保育を」  
「恭子先生は私にとっても先生なんです」



高橋 恭子 さん (67歳)  
趣味はウォーキング、映画鑑賞、  
時には子どもたちのために裁縫も

## 社労士からひとこと!



社会保険労務士・  
キャリアコンサルタント  
産業カウンセラー

小嶋 亜希子 さん

## 人生の経験値が「新しい景色」を見るきっかけに!

シニアの方と働く第一のメリットは「人生経験が豊富」であるという事。シニアの方が保育園で働くという事は、「お預かりしたお子さんの面倒を見る」という点での経験値と「他の若い同僚にアドバイスをできる」という両面からメリットがあると思います。

特に保育士の経験をお持ちのシニアの方などは今後活躍の場が増えるので

はないでしょうか?

「一緒に働く若い同僚の応援団になりたい」という、恭子先生の言葉がすべてを物語っていると思います。シニアの方が生き生きされている職場は、コミュニケーションも盛んに取れているようです。そんな毎日から、シニアの方の「新しい景色」が見えてくると良いですね。

## 高齢者雇用の求人募集は【就サポ】へ!

お申し込み・お問い合わせ

札幌で就活なら  
**就サポ** 札幌市就業  
サポートセンター

求人開拓室

☎ 011-708-7865

☎ 011-716-6811

《受付時間》平日8:45~17:00(土・日・祝日・年末年始除く)

就サポサービス情報サイト <http://saposen.co.jp/>



札幌市北区北24条西5丁目 札幌サンプラザ1階 地下鉄南北線「北24条駅」1番出口より徒歩3分



さっぽろ市  
02-H01-23-2725  
R5-2-1627

主催：札幌市 実施・運営：株式会社 東京リーガルマインド

XV2300208